

研究課題名 『膝関節前十字靭帯再建術における再建靭帯の種類、術後骨孔位置の解析、骨孔径や面積が術後成績に与える影響の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 職位・氏名 整形外科 教授 武者芳朗

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科では、膝関節前十字靭帯損傷に対する手術において、使用する腱の種類、腱を通す位置、径、面積の違いなどが術後成績に与える影響を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、手術成績(合併症など)と患者満足度(スポーツ復帰率)を向上することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2015年1月～2021年11月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、前十字靭帯損傷の診断で関節鏡視下靭帯再建術の手術を受けた方 約300例を対象とします。

方法: 診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

病歴、診療の臨床データ(診察情報や合併症、アンケートなど)、画像データ

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表医師: 武者芳朗 役職: 教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、代諾者であっても研究への不参加を請求する事が可能です。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター 大橋病院 整形外科
職位・氏名 助教 石井克尚
電話 03-3468-1251 内線 7164